

## 環境モニタリング調査計画策定方針(案)

平成26年度に検討予定している環境モニタリング調査計画の策定方針について整理する。



## 環境モニタリング調査計画策定方針(案)

橋梁形式決定後検討する、環境モニタリング調査の調査項目を以下に示す。

環境要	環境モニタリング調査			AV =5	概略スケジュール									
素	工事前	工事中	工事後	説明		1 1006 1		H 27	H 28	H 29	H 30	H31	H32	以降
騒音				・建設作業時に発生する騒音・振動を測	_									
振動				定し、周辺家屋に影響が出ないよう監視 する。	工事予定等	橋梁			工事の実施		開通予定	維持管	理	
水質				・工事前、河川内で工事を実施する間、 工事後に水質を測定し、周辺水域に影響 が出ないよう監視する。	定等	細設	計	<u> </u>				予定	WEJ 3 E	
地形 及び 底質				・工事前、工事中、工事後に渡河部周辺の潮下帯の地形測量を実施する。 ・底生生物調査実施時に併せて採泥し、 底質を測定する。	モニタ	環境	事前					\		
植物、動物生態系			・渡河部近辺を飛翔する鳥類について、種名、個体数、飛翔高度、飛翔 鳥 経路を計測する。 ・満潮時にねぐらにいるシギ科・チドリ科の種名、個体数を計測する。	モニタリング調査	環境モニタリング調査計画の策定	調査		工事中調査		事後調査				
				底 生 生生物を採泥器によって捕獲し、種 生名、個体数、湿重量等を計測する。	調査結果の評価	調査計画の策	評価	事前調査	工事価の		影響後価の			
				・渡河部周辺に生息する魚類をサー 魚 フネットや刺網等によって捕獲し、 類 種名、個体数を計測する。	評価	定	o l	の		<u>の</u>		但	ij の	

鳥類の事後調査については、上部工の橋桁が完成してから2年間実施することを想定している。

調査目的、調査方法、調査範囲等は、環境部会からの配慮事項を受けて検討する。

